



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 細谷 俊夫 幹 事 伴 誠 会報・雑誌委員長 床井 光雄

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3059号 2024年9月3日(晴れ) 第9回例会 会員数100名

### ハイブリッド例会



点 鐘 細谷会長  
司 会 副SAA 谷田部(勝) 会員

- ◇国歌「君が代」
- ◇ロータリーソング「四つのテスト」
- ◇本日のランチ 小付 揚物 煮込みハンバーグ  
香の物 みそ汁 御飯 デザート



### ビジター紹介 片嶋副会長

- ◇社会福祉法人恩賜財団 済生会支部  
栃木県済生会宇都宮病院  
副院長 篠崎 浩治 様(卓話者)  
務部副部長 上野 宏文 様
- ◇2022-24米山記念奨学生  
ラグワスレン、アマルサナー君(アマラ君)



### 会長挨拶 細谷会長

皆さん、こんにちは。今日は少し涼しくて、皆様も過ごしやすいのではないのでしょうか。先日仕事で那須高原に行きましたら、ヒガンバナが咲いていました。季節は確実に進んでいると思いました。9月は「基本的教育と識字率向上月間」及び「ロータリーの友月間」です。ロータリーの友は、1953年(昭和28年)1月に初刊されました。日本34地区のロータリークラブ会員のための公式地域雑誌として、国内の地区・ロータリークラブ及び会員の活動状況を紹介して親睦を図り、また、国内外における各種ロータリー情報を掲載することによりロータリー精神の養成、ロータリー活動の発展に寄与することをその目的としています。この雑誌は、R I理事会の承認を受けたロータリー機関雑誌として、ロータリーの友委員会の監督下で発行されています。毎月1日に発行され、ロータリークラブ会員は、購読義務を有していま

す。というより、ロータリーの友は、ロータリーについての最大の情報誌でもありますので、皆さん読んでください。

今日の卓話は、ゲスト卓話で社会福祉法人恩賜財団済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院 副院長 篠崎浩治様と、会員卓話で渡邊有規会員のふたつの卓話がありますので、よろしくお願ひいたします。

### ◇若度会員からご挨拶

過日行われました母の通夜、告別式にご会葬並びにご厚志を賜わりまして、誠にありがとうございます。この場を借りてではございますが、厚く御礼申し上げます。



### 幹事報告

伴幹事

- ◇9月のロータリーレートは、現時点で未公表のため次週ご報告します。
- ◇クラブ会員一覧をレターBOXに配布。現況報告書は次週配布予定。



### 委員会報告

中村委員長

- ◇親睦委員会  
＜誕生祝い・9月＞  
会員誕生

原 賢一、今泉 一、稲見 京二、  
石川 和重、木平 健、小林 利延、  
古瀧 友章、小野 誠、尾野崎孝夫、  
櫻井 基雄、辻 裕司、若度 哲久、  
山本 修一

各会員

夫人誕生

水谷 敦彦、櫻井 基雄、田原 聖、  
手塚 正智、柳田 慎治

各会員の奥様



## ゲスト卓話

「生殖補助医療の導入について」



社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 栃木県  
済生会宇都宮病院 副院長 篠崎 浩治 様

本日は、宇都宮東ロータリークラブでお話させていただける機会を頂戴いたしまして、細谷会長はじめロータリークラブの皆様、心より感謝申し上げます。今日、ここでお話をさせていただく目的ですが…。私共の病院で、生殖医療、不妊治療になります。新たにはじめることになりました。はじめにあたり、クラウドファンディングに挑戦しております。主旨にご賛同いただきご支援をいただければ、ということと、その背景と新しい事業への思いを知っていただくことです。この新しい事業を通して、地域への貢献が出来れば、ひいては日本全体がもっと元気になっていただければ、そういう思いでお話させていただきます。お配りした趣意書とパンフレットを参照に聞いていただければと思います。

### － パワーポイントにて説明 －

背景は、日本の少子高齢化が進み、それは、お子さんの誕生が少ない、というのが原因になっています。栃木県の出生数は、2000年頃は2万件前後でしたが、一昨年、9,000人前後に減っております。また、先頃、厚生労働省から発表がございましたが、半年間の日本の出生数が最低を記録し、本年も過去最低になることが見込まれています。こういった中で、一昨年、不妊治療に対しての保険医療が認可されました。私共の病院でも、不妊治療の最終的な手段でございます、生殖医療の体外受精、その中でも最終的になりますが、顕微鏡下で行う顕微受精の準備を、今、進めているところです。産科病棟の工事も終了し技術的な部分に卓越している胚培養士という職種の方も2名雇用し準備はできております。マイクロマニピュレーターという器具の納入を待って、この10月、もしくは、11月にはスタートさせたいと思っています。クラウドファンディングは7月8日から9月30日の期間ですが、第一目標の1000万円は到達し、現在NEXT GOALの2000万円を目指しております。栃木県でも少子高齢化の中で、宇都宮市では産科の総合病院が残念ながら私共の病院一

つになってしまいました。マイクロマニピュレーターはクラウドファンディングの当初の目標の4倍かかります。その他、いろいろな経費もかかりますが、我々が取り組むべき課題として、こうした生殖医療に取組み、地域でどんどん人が減ってしまう、若い力が少なくなってしまう、そういったことに、私共の病院で少しでも対策できることがあればと、協力させていただきたいとはじめました。体外受精については、一昨年の保険適用から数が伸びております。私共も今年度から生殖医療を開始させていただき、宇都宮、栃木県、そして日本全体の少子化の対策の一助になればと思っております。

クラウドファンディングですが、インターネットでのお申し込みが難しい方は、経営支援課にご連絡いただければ対応いたします。寄付は税制上の優遇措置を受けることができます。栃木県、宇都宮のためにも成功させたいと思いますので、是非、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



## 卓話

「米山奨学生 アマラ君と会う…モンゴルにて」



渡邊有規会員 (2022-24米山カウンセラー)

皆さん、こんにちは。今回、2022-24年の2年間、クラブでお世話になりました元米山記念奨学生のアマラ君から「是非、皆様に、モンゴルに来て欲しい」という話があり、私が団長となり、渡邊和裕副団長、山中和弥副団長、金田剛さん、野添將嗣さん、平野利一さん、原賢一さんの7名で行って参りました。

※滞在期間 7月11日～7月14日

モンゴルははじめてでしたが、なかなか行けないところなので、楽しんで参りました。スライド写真を見ていただきながら、ご報告させていただきます。私が一番びっくりしたのは、空港に着きましたら、アマラ君とご家族の方が、手作りのウェルカムボードを持って待っていて、全員にオリジナルTシャツをいただき、心から歓迎をいただいたことです。

— スライド写真にて説明 —

- ・日本からウランバートルのチンギスハーン国際空港まで直行便で約5時間半。
- ・モンゴルは日本の約4倍の広さで人口は約350万人。ウランバートルは160万人。
- ・ウランバートルは高層ビルが立ち並ぶ。
- ・天皇陛下も泊まったことのあるチンギスハーンホテルに宿泊。
- ・ゲルで食事。アマラ君のご両親と談笑。
- ・モンゴルの民族料理や祭りを楽しむ。
- ・チンギスハーン博物館見学。
- ・テレルジ国立公園観光。
- ・2日目は国立公園の中のゲルに宿泊。
- ・至る所にプリウスが走っていた。
- ・モンゴルウランバートルのNew Bridge RCでロータリアンと交流。バナー交換。New Bridge RCの会員は23名。

※最後にアマラ君からご挨拶がありました。

